

スポーツカムシャフト 取扱説明書

製品番号 01-08-0063

適応車種及び フレーム番号	PCX (JF28-1100001 ~)
	(JF56-1000001 ~ 1021668)
	PCX150 (KF12-1000001 ~)
日本国内正規販売車	

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。
 使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。
 万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- ◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。

～特徴～

- ノーマルエンジンに取り付けるだけで中、高速域の出力がアップします。
 また、弊社製マフラーを取り付ける事により更なる出力アップが可能です。

空燃比についてのご注意

弊社製マフラーと同時に使用されますと空燃比が適正値とならず、エンジン破損の可能性があります。必ず弊社製 FI コンを同時に装着して下さい。

デコンプについて

デコンプを取り付ける場合は純正カムシャフトの分解、プーラー、プレス等の特殊工具が必要になります。
 フレーム番号が JF56 の車両にお使いの場合、純正カムシャフトのデコンプパーツを組み付ける事が出来ません。
 デコンプを取り付ける場合は JF28-1100000 ~ のノーマルカムシャフトのデコンプパーツを取り外し組み付けて下さい。
 デコンプを取り付けない場合、アイドルストップモードで使用されると発進時に若干エンジン始動に遅れが生じますのでデコンプを取り付けられるかアイドルモードでご使用下さい。
 また、デコンプを取り付けられた際、アイドルストップモード作動時にノーマルカムより大きい作動音がする場合がありますがカムプロフィールの違いに因るものですので異常ではありません。

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

- 作業を行う際は、その作業に適した工具を使用して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- 点検、整備は、定期的に行って下さい。(点検、整備を怠るとエンジン破損の原因につながります。)
- 点検、整備を行った際、損傷部品があれば、必ず損傷部品の交換をして下さい。(損傷部品の使用を続けると、エンジン破損の原因につながります。)

警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(そのまま、走行すると事故につながる恐れがあります。)
- エンジンを運転する場合は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では行わないで下さい。(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- 作業を行う際は、エンジンを安定させ、安全に作業を行って下さい。(不安定な状態での作業は、エンジン等が倒れてケガをする恐れがあります。)

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。

但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。

◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

製品内容



部品名	個数
カムシャフト COMP.	1

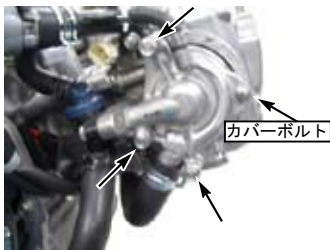
株式会社 スペシャルパーツ 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16
 TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>
 お問い合わせ専用ダイヤル：0721-25-8857

カムシャフトの交換作業にはエンジンの脱着作業が必要になります。
純正サービスマニュアルを参照して冷却水の排出、エンジンの取り外しを行って下さい。

●カムシャフトの取り外し

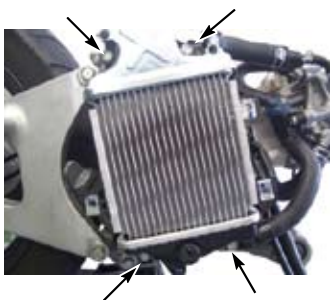
◇ウォーターポンプカバーボルトを緩め、ボルト3本を取り外す。



◇ボルト2本を取り外す。



◇ボルト4本を取り外す。



◇シリンダーのウォーターホースの接続を外す。



◇ラジエータ、ウォーターポンプを取り外す。



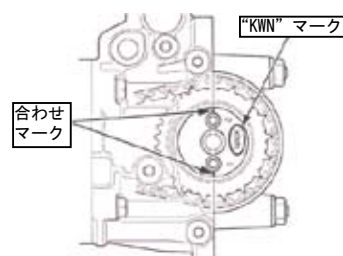
◇ボルト4本を外しシリンダーヘッドカバー、ラバーシールを取り外す。



◇クーリングファンを時計方向に回し、クーリングファンの“T”マークとラジエータベースの合わせマークを合わせる。



◇カムスプロケットの合わせマークがシリンダーヘッド端面に合っていて“KWN”マークがエンジン上側にある事を確認する。
※“KWN”マークがエンジン下側にある場合はクーリングファンを時計回りに一回転させる。



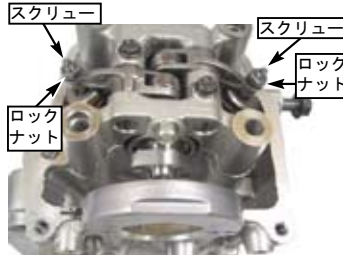
◇スクリューを外しOリングを外す。
◇ボルト2本を外しカムチェーンテンションナーを取り外す。



◇クーリングファンを押さえ、カムスプロケット取り付けボルトを取り外す。



◇タペットアジャストロックナットを緩め、タペットアジャストスクリューを一杯まで緩める。



◇カムシャフトストッパーボルトを外しカムシャフトを抜き取る。



◇カムシャフトを下の写真の位置まで抜いたらカムシャフトを180°回転させ抜き取る。



●デコンパーツの取り付け

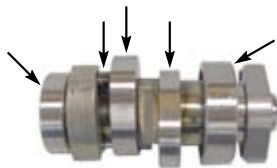
※アイドルモードの場合、デコンパーツは取り付けなくても使用上問題は有りません。
※取り外し、取り付けにはベアリングブーラーやプレス等の特殊工具が必要となります。
◇ノーマルカムシャフト、付属のカムシャフトのベアリングを外しノーマルカムに取り付けられたデコンパーツを取り外す。



◇写真を参考に部品を取り外し、逆の手順で組み付けます。
※組み付け時、スプリングの巻き方向に注意して下さい。
※キット付属のカムシャフトに取り付けられているシムリングは使用しません。

●カムシャフトの取り付け

◇付属のカムシャフトのカム部、ベアリング部、取り付け場合はデコン部にエンジンオイルを塗布する。



◇抜き取った逆の手順でカム山をシリンダーヘッド上部に向けてカムシャフトを取り付ける。



◇カムシャフトを下の写真の位置まで挿入したらカムシャフトを180°回転させ取り付ける。
※入り難い場合でもハンマー等は使用しない。



◇カムシャフトストッパーボルトを規定トルクで締め付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
カムストッパーボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)

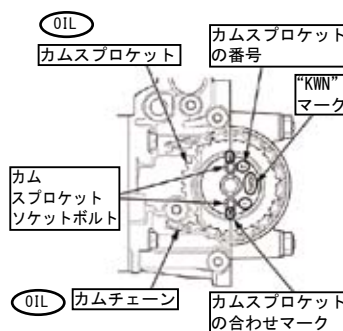


◇クーリングファンを時計方向に回し、クーリングファンの“T”マークとラジエーターベースの合わせマークを合わせる。



◇カムチェーンとカムスプロケットの歯面にエンジンオイルを塗布する。
◇カムスプロケットをカムチェーンにセットし、カムシャフトに取り付ける。
◇カムスプロケットの合わせマークがシリンダーヘッド端面に合っていて“KWN”マークがエンジン上側になるようにカムスプロケットを取り付ける。
◇カムスプロケットソケットボルトのねじ部、座面にエンジンオイルを塗布し、カムスプロケットの番号順に規定トルクで締め付ける。
※ボルトがクランクケース内に落ちないように注意する事。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
カムスプロケットソケットボルト
トルク：8N・m (0.82kgf・m)



◇細いマイナスドライバーを使用しアジャスターを時計方向に回しカムチェーンテンショナーリフターを縮める。



◇その状態でテンショナーをシリンダーに取り付け、ボルト2本を規定トルクで締め付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



◇細いマイナスドライバーを使用しアジャスターを反時計方向に回しカムチェーンテンショナーリフターを戻す。
※少し回すだけで自動的に戻ります。

◇Oリングにエンジンオイルを塗布し、カムチェーンテンショナーリフトの溝に取り付ける。
◇カムチェーンテンショナーリフターを規定トルクで締め付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
カムチェーンテンショナーリフター
トルク：4N・m (0.41kgf・m)

◇クーリングファンを時計方向に2回転させクーリングファンの“T”マークとラジエーターベースの合わせマークを合わせた時にカムスプロケットの合わせマークがシリンダーヘッド端面に合っていて“KWN”マークがエンジン上側にあることを確認する。

◇ロッカーアームのタペットアジャスティングスクリューを締め込んでいき、タペットアジャスティングスクリューとバルブステムエンドの間にシクネスゲージを入れて少し抵抗があるくらいで引き抜ける様に合わせ、タペットアジャスティングナットを締め付ける。
バルブクリアランス (冷間時)
IN:0.10 ± 0.02mm
EX:0.24 ± 0.02mm

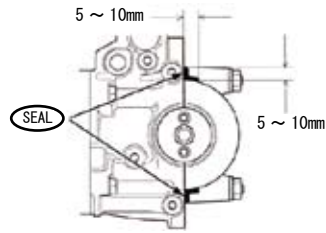


◇タペットアジャストスクリューロックナットのねじ部と座面にエンジンオイルを塗布する。
◇シクネスゲージを差し込んだ状態でアジャストスクリューを固定し、ロックナットを規定トルクで締め付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ロックナット
トルク：10N・m (1.0kgf・m)

◇タペット調整後、反時計方向にフライホイールを2回転回した後で“T”マークと“0”マークタイミングマークを合わせる。
◇タペットすき間が変化していないか点検し、すき間が合っていればOK、狂っている場合は調整する。この作業を合うまで繰り返して下さい。

◇下図の示す部分にシール剤
(スリーボンド:5211C又は
相当品)を塗布する。



◇ラバーシール、シリンダーヘッド
カバーを取り付け、ボルト
3本を規定トルクで締め付ける。

▲注意:必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク:10N・m(1.0kgf・m)

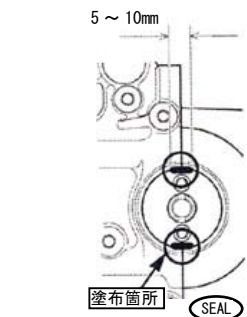
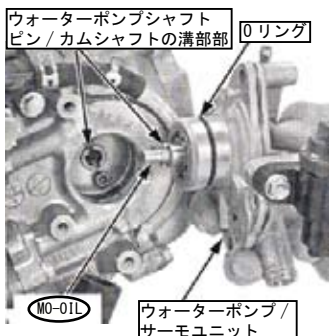
◇ラジエータ、ウォーターポンプ
を取り付ける。

◇シリンダヘッドとウォーターポン
プ合わせ面に、シール剤
(スリーボンド:5211C又は
相当品)を下図のように塗布す
る。

◇ウォーターポンプ/サーモス
タットの溝部にOリング(※新
品交換推奨)を取り付ける。

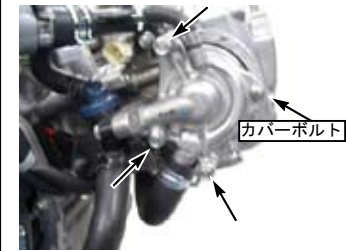
◇ウォーターポンプシャフトとカ
ムシャフトの接合部にモリブ
デンペストを塗布する。

◇ウォーターポンプシャフトピン
とカムシャフトの溝部を合わせ
ながら、ウォーターポンプ/サー
モスタットを取り付ける。



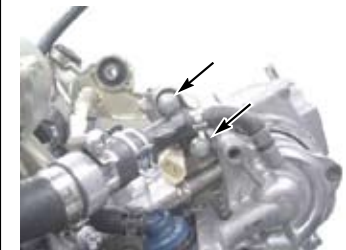
◇ボルト3本を締め付けウォーター
ポンプカバーボルトを締め付け
る。

▲注意:必ず規定トルクを守る事。
ウォーターポンプカバーボルト
トルク:10N・m(1.0kgf・m)



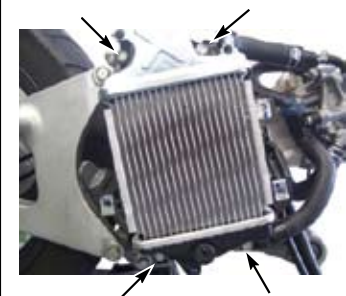
◇ボルト2本を締め付ける。

▲注意:必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク:10N・m(1.0kgf・m)



◇ボルト4本を締め付ける。

▲注意:必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク:10N・m(1.0kgf・m)



◇シリンダーのウォーターホースを
繋ぐ。



◇純正サービスマニュアルを参照し
冷却水の注入、エア抜き、エン
ジンを取り付ける。